

為替市場

	Open	High	Low	Close	Change	
USD/TWD	31.440	31.519	31.420	31.518	+0.058	(+0.2%)
USD/JPY	154.91	155.64	154.72	155.02	+0.025	(+0.0%)
JPY/TWD	0.2055	0.2058	0.2044	0.2057	+0.0001	(+0.0%)
EUR/USD	1.1775	1.1808	1.1744	1.1780	+0.0010	(+0.1%)
USD/CNH	6.8985	6.9065	6.8956	6.8956	-0.0024	(-0.0%)

株式/商品市場

	Close	Change		Close	Change
台湾加権指数	Close		ダウ平均	49,625.97	+230.81 (+0.5%)
日経平均	56,825.70	-642.13 (-1.1%)	S&P 500	6,909.51	+47.61 (+0.7%)
TOPIX	3,808.48	-43.61 (-1.1%)	WTI	66.39	-0.04 (-0.1%)
上海総合	Close		Brent	71.76	+0.10 (+0.1%)
DAX	25,260.69	+217.12 (+0.9%)	金	5,059.30	+83.40 (+1.7%)

債券市場

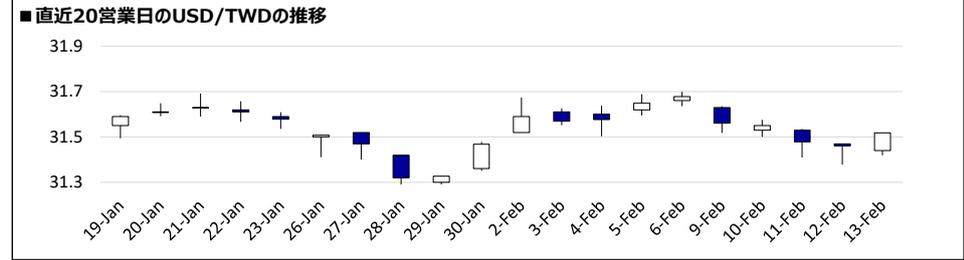
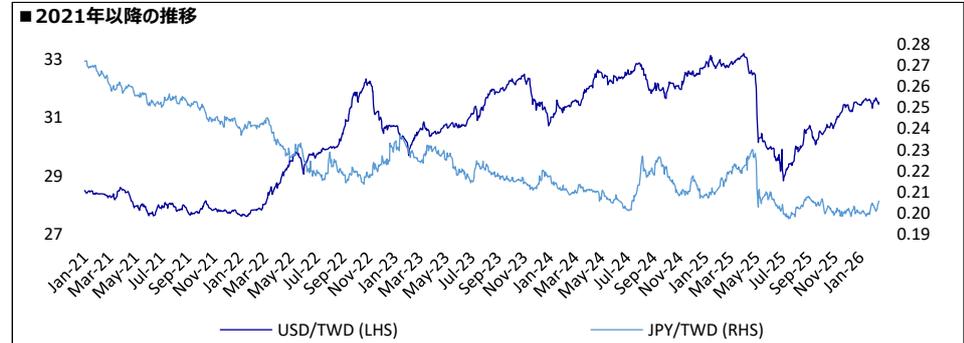
	2年債	5年債	10年債
台湾国債利回り	1.21% (+0.0bp)	1.35% (+0.0bp)	1.43% (+0.0bp)
日本国債利回り	1.25% (-0.6bp)	1.61% (-2.6bp)	2.11% (-3.5bp)
ドイツ国債利回り	2.07% (+1.3bp)	2.34% (-0.0bp)	2.74% (-0.6bp)
米国債利回り	3.48% (+1.0bp)	3.65% (+0.1bp)	4.09% (+1.0bp)

前日の市場動向

■USD/TWD
13日のUSD/TWDは上昇展開。31.440でオープンした後、市場は輸出企業によるドル売り需要があったものの、輸入業者によるドル買い需要が強くなり、31.400台後半に押し上げた。午後には国際的なドル反発に伴いドル買いが強まり、31.500を乗せた。最終的に31.518、前日比0.2%高でクローズ。

■USD/JPY
昨日のUSD/JPYはほぼ横ばい。154.91でオープン後、日本1月CPIが予想を下回る結果になったことを受け、円売りが強まる展開となり、一時155.64まで付け、その後は155円台前半に戻した。海外時間には米第4四半期GDPの速報値が予想を大きく下回る結果となり一方で、予想を上回る結果となったPCE価格指数が材料視され、155円台半ばまで回復。ただその後は、米2月ミシガン大学消費者マインドの確報が軟調な結果となったことなどを背景に、再び弱含み推移し、最終的には155.02、前日とほぼ変わらずクローズ。

台湾ドルの推移



本日の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：31.350-31.550
本日のUSD/TWDは弱含み推移を予想。春節休暇が終了し、その間に米株式市場の上昇に伴い台湾株が上昇する可能性がある。さらに月末を迎え、輸出企業によるドル売り需要が台湾ドル買いを支える見通し。

■USD/JPY 予想レンジ：153.00-154.50
本日のUSD/JPYは弱含み推移を予想。トランプ氏が関税違憲判決後に新政策を打ち出したことや、ドルへの懸念が強まり、投資環境の不確実性が高まっていることを背景に、ドルが弱含む可能性がある。

今週の予定

2/23 (MON)	米国12月製造業新規受注
2/24 (TUE)	米2月コンファレンスボード消費者信頼感指数
2/25 (WED)	米第1四半期アトランタ連銀GDPNow
2/26 (THU)	
2/27 (FRI)	米1月PPI、日本2月CPI、日本の1月鉱工業生産指数・小売売上高

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。